

県内経済の動き

概況

〔2020年5月～2020年7月の動き〕

新型コロナウイルスの感染拡大により厳しい状況続く

鉱工業生産指数（5月）は8カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（6月 細島港）は4カ月連続で前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（6月 全店ベース）は4カ月連続で前年同月比減少、「軽」を含む乗用車の販売台数（7月）は10カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（6月）は2カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（7月 保証対象請負総額）は5カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（6月）は前月比0.02ポイント低下し1.10倍となった。7月の企業倒産は前月比1件減の2件、負債額は同6億46百万円減の1億17百万円となった。

7月から県内でも新型コロナウイルスの感染者が増加しており、本県経済への影響が懸念される。